

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



あやま
過ち無きは便ち是れ功なり

高
木
聖
雨
先
生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



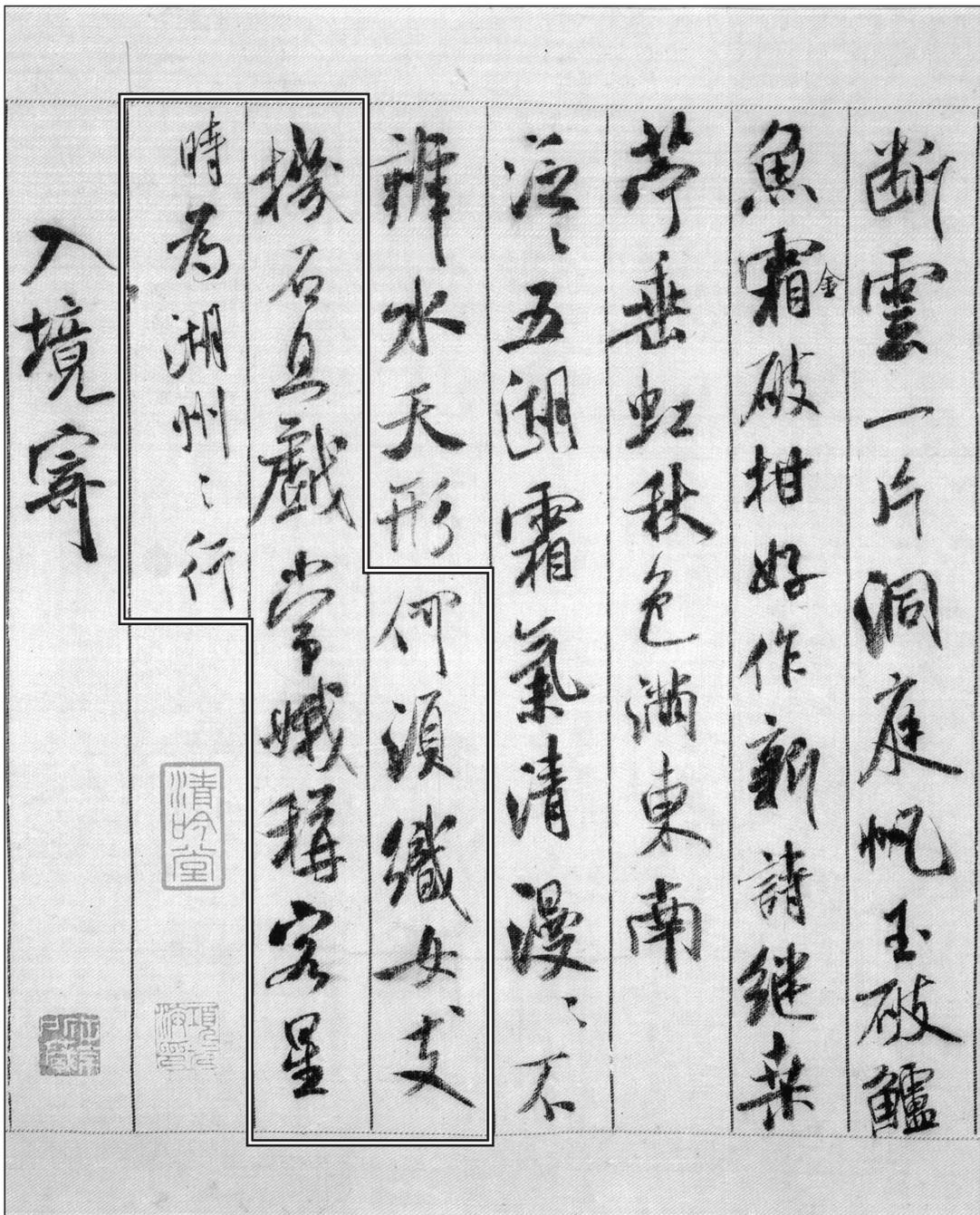
高 木 聖 雨 先 生

条幅規定

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)

戲



『蜀素帖』

米芾(宋)

断雲一片洞庭帆。玉破鱸魚霜破柑。好作新詩繼桑苧。垂虹秋色滿東南。泛々五湖霜氣清。漫々不辨水天形。何須織女支機石。且戲常娥稱客星。時為湖州之行。入境寄

断雲一片洞庭の帆。玉は鱸魚を破り金は柑を破る。好し新詩を作りて桑苧に継ぎ。垂虹の秋色東南に満つ。泛々たる五湖霜氣清く。漫々として辨せず水天の形。何ぞ須いん織女の支機石。且く常娥に戯れて客星と称せん。時に湖州の行を為す。入境寄

【今月の課題】

「何須織女支機石。且戲常娥稱客星。時為湖州之行。」

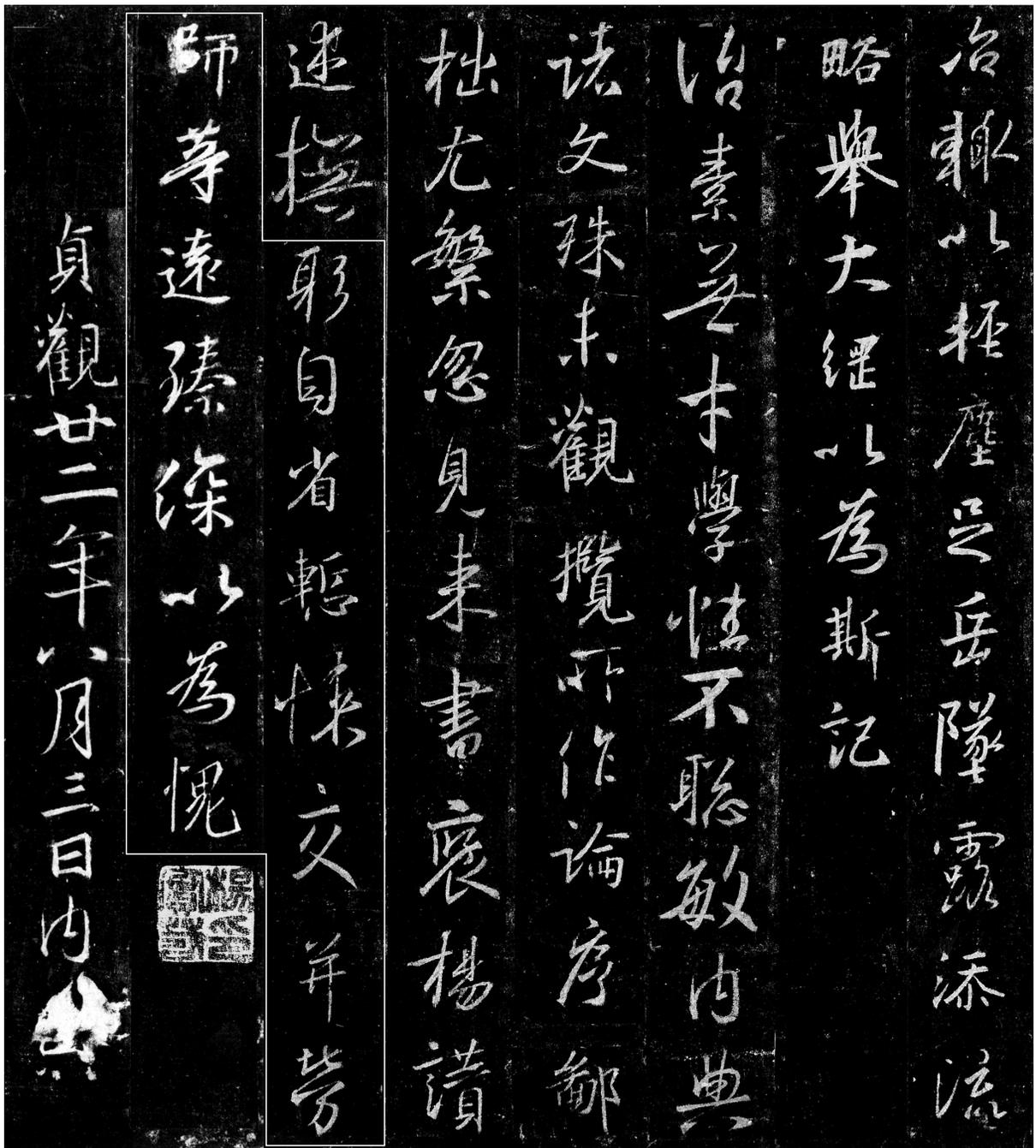
(20字)

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(3月10日締切)

『集字聖教序』

王羲之



治輒以輕塵足岳。墜露添流。略舉大綱。以爲斯記。治素無才學。性不聰敏。內典諸文。殊未觀攬。所作論序。鄙拙尤繁。忽見來書。褒揚讚述。撫躬自省。慙悚交并。勞師等遠臻。深以爲愧。貞觀廿二年八月三日內出。

治輒すなわち輕塵を以て岳に足たし、墜露をもつて流れに添えるのみ。略はぼ大綱を挙げ、以て斯の記と爲す。治素より才學無く、性聰敏ならず。內典の諸文は、殊ことに未だ觀攬せず。作所の論序は、鄙拙ひんじゆつ尤も繁はなだし。忽ちたちに來書を見、褒揚讚述ほうやうさんじゆつさる。撫躬自省するに、慙悚交并しんしよくわいひす。師等の遠きより臻いたすを勞あづかわせるは、深く以て愧はじと爲す。貞觀廿二年八月三日內出す。

【今月の課題】

「躬自省。慙悚交并。勞師等遠臻。深以爲愧。」

(16字)

棟師等深愧

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(3月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



陳風雨時節

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。
※清書の提出は「初段以上」楷書か隸書 (二級以下) 楷書

市肆列陳す。風雨は時節ありて、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(3月10日締切)

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



損去其泰甚

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。
 ※清書の提出は「初段以上」楷書か隸書（二級以下）楷書

損・
 去・
 其・
 甚

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(3月10日締切)

条幅参考手本

雲勢移峰緩
泉聲出竹遲
此時無限意
唯有翠禽知

鈴木 翫 惠 先生

雲勢移峰緩 泉聲出竹遲 此時無限意 唯有翠禽知

雲勢峰を移りて緩かに 泉声竹を出でて遅し この時限り無きの意 ただ翠禽の知るあるのみ

渡 辺 久 美 先生

夜訪山中客
濛濛月色凝
敲門人未覺
仙鶴一聲應

夜訪山中客 濛濛月色凝 敲門人未覺 仙鶴一聲應

夜訪う山中の客 濛濛として月色凝る 門を敲いて人未だ覺えず 仙鶴一声応ず

条幅かな

条幅参考手本

のどかなる霞かすみの空そらの夕ゆふづく日ひ傾かたむく末すえにうすき山やまの端は (從二位為子)
可難留可三

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。



浮 乘 清 郷 先 生

漢國山河在 秦陵草樹深 暮雲千里色 無處不傷心
 漢國山河在り 秦陵草樹深し 暮雲千里の色 処として心を傷ましめざるは無し



長 澤 豊 雲 先 生

(3月10日締切)

半紙かな（初段以上）

吉野山よしのやまさくらにかかゆふかすみはなる夕霞花もおぼろ朧の色いろはありけり八利个理（後鳥羽院）



浮 乘 清 郷 先生

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

(3月10日締切)

半紙かな（1級以下）

寒月かんげつに水浅みずあさくして川流かはながる奈可留（山口誓子）

寒月

水浅くして川流る

川流る

□

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

船久保 棠 苑 先生

（3月10日締切）

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

風が立ち、浪が騒ぎ、無限のまえに
 腕を振る。もう永遠に帰らない
 ことを思って、酷薄な嘆息する
 のも幾たびであらう…
 支部名 段級 姓 号

渡 邊 南 嶂 先生

中原中也『盲目の秋』より 酷薄(こくはく) 嘆息(たんそく)

(3月10日締切)

細 字

	支 部	段 級	姓	号
	(名前には必ず楷書で書くこと)			
弊	宿	思	索	研
宿	思	索	研	學
思	索	研	學	著
索	研	學	著	述

※一級以下は草書まで。初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

弊へい 宿しゅく 思し 索さく
 宿しゅく さびれた宿。
 索さく 考えもとめる。

研けん 学がく
 学がく 学問を研究する。

(3月10日締切)

硬筆（初段以上）

野原にまだ雪がまばらに残っていて
も黒い土の中では気の早い草の
芽吹きが始まっています。まだく
風の冷たい季節ですが春を待ち
わびる気持ちにはなぜか心踊ります。

支那名 麻 姓 号

…中では…草の芽吹き…冷たい季節…

青柳江雲先生

（3月10日締切）

硬筆（4級以下）

支部
級
姓
号

二月は、梅色月・初花月など、春の予
感に満ちた異名を持っています。

本院定型用紙・たて半分に書く

田
邊
翠
鶴
先
生

硬筆（1級～3級）

支部
級
姓
号

二月は、梅色月・初花月など、春の予
感に満ちた異名を持っています。

田
邊
翠
鶴
先
生

（3月10日締切）

中2用

支部名	自由な
段級	発想
名前	
前	

渡邊南嶂先生

中3用

支部名	理想の
段級	実現
名前	
前	

大越三宗先生

小6用

支部名	山
段級	残雪
名前	
前	

渡邊南嶂先生

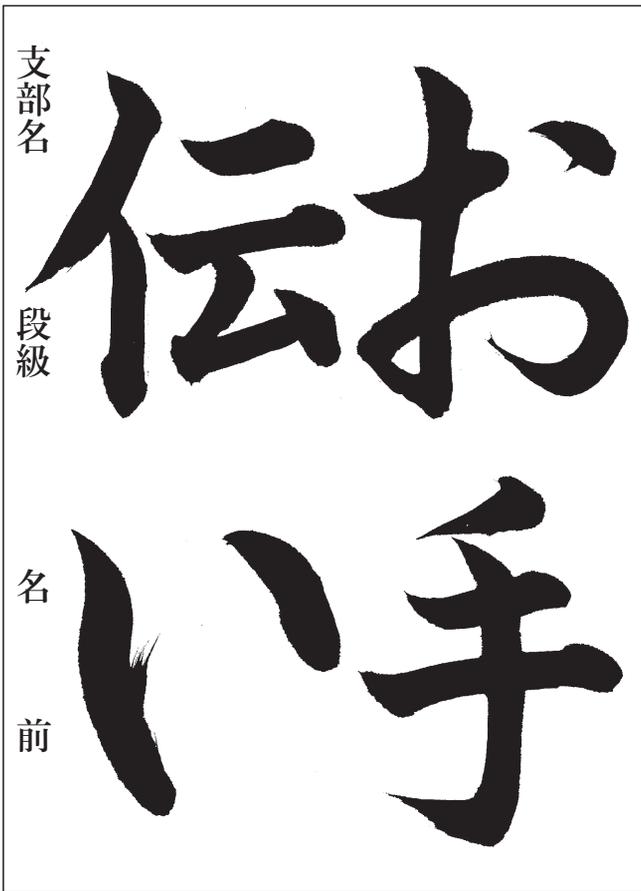
中1用

支部名	祝う
段級	節句を
名前	
前	

渡邊南嶂先生

(3月10日締切)

小4用



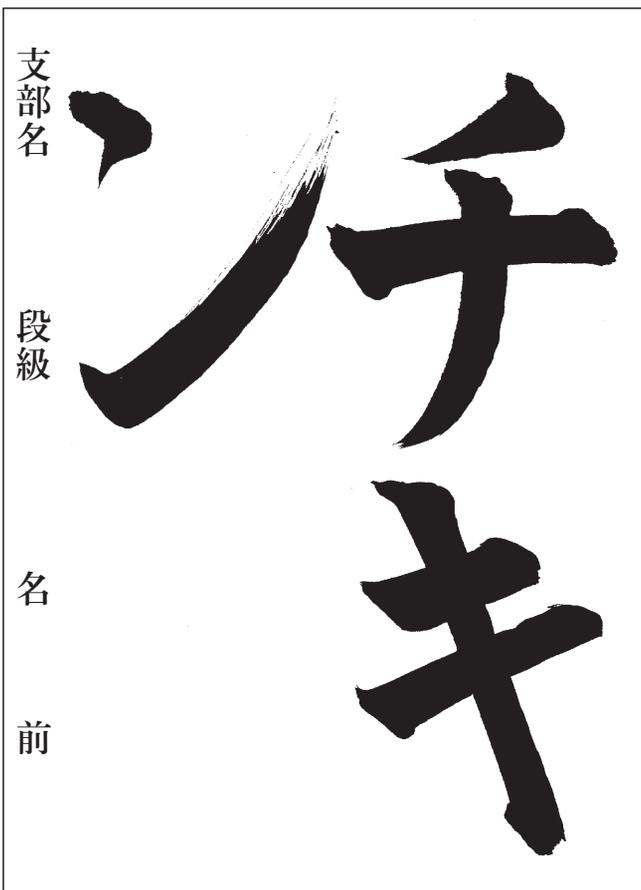
大越三宗先生

小5用



大越三宗先生

小2用



鈴木翡翠先生

小3用



鈴木翡翠先生

(3月10日締切)

中 1

を親しい間柄でも、節度を保つことが大切。

中1~中3

中 2

相手の立場を考え、痛みのわかる人になろう。

青柳江

中 3

寒い梅は花をつけたいかな。遠い故郷が懐かしい。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

んふき

鈴木蕙先生

小1・幼年

つくえ、いす、えんぴつ、したじき。

小1~小3

小 2

いはけにこおりがはり、はるはまだ先です。

鈴木蕙

小 3

まちどおしい春。山は雪がふりつづいてる。

翠先生

小 4

寒い冬の日でも外に出て元気よくあそぼう。

小4~小6

小 5

北国にも、もうすぐ春の足音が聞こえて来る

田辺翠

小 6

連休で、スキー場は、朝から混雑していた。

鶴先生

(3月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

船久保 棠 苑 先生

支部名 段級 名前

山の春に
雪が光る

支部名 段級 名前

風上に
白鳥あそび
年たり

主幹 菅野 翠 濤

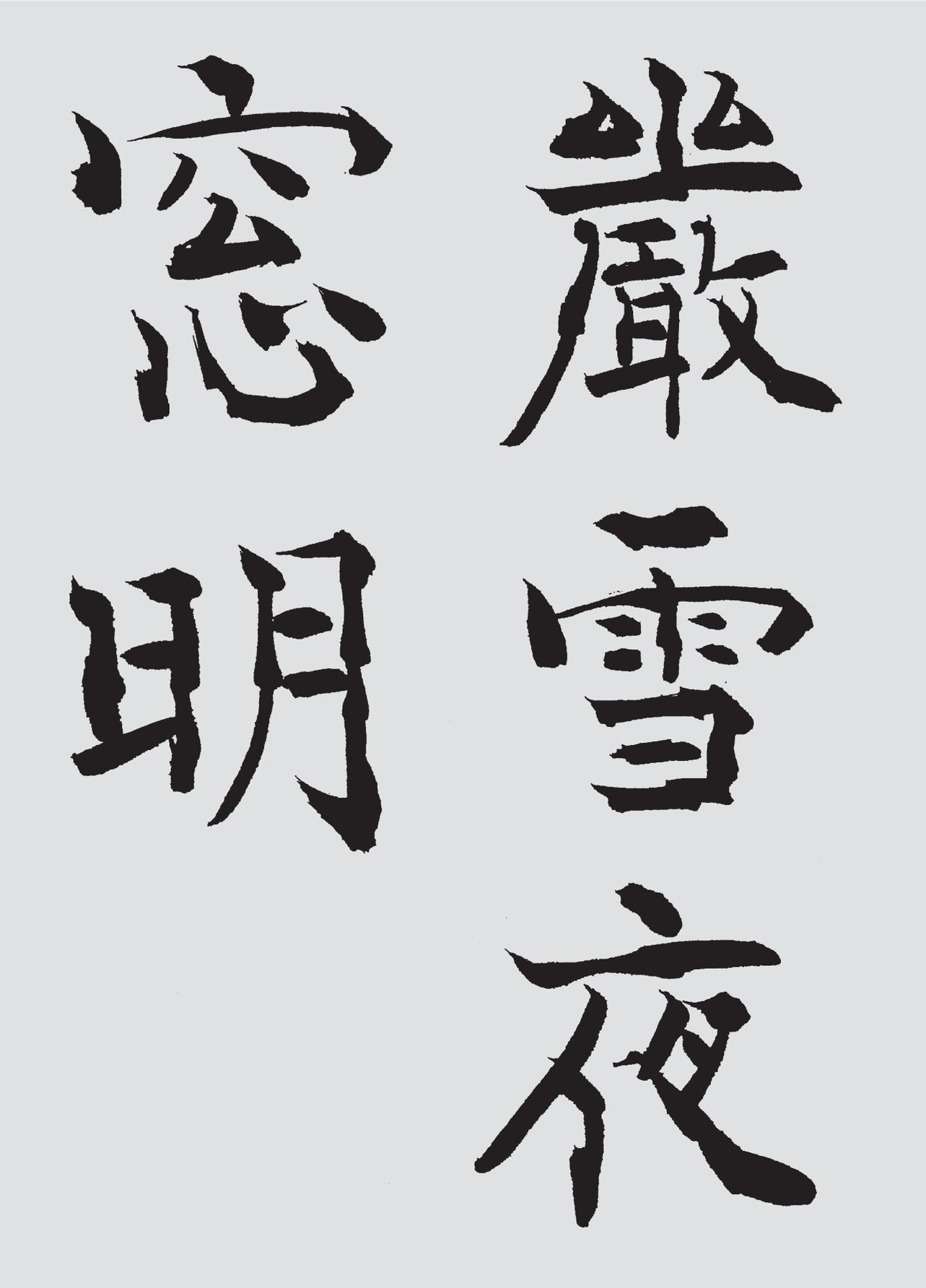
半紙半分を書いて下さい (3月10日締切) 半紙半分を書いて下さい

漢字筆順表 (教育漢字)

曇 (16画) 口 日 曇 曇 曇 曇 曇	鈍 (12画) 夕 夕 金 金 鈍 鈍	敦 (12画) 土 土 亨 亨 敦 敦	豚 (11画) ノ 月 月 豚 豚 豚	屯 (4画) 一 二 屯	酉 (7画) 一 冂 酉 酉 酉	寅 (11画) ノ 宀 宀 寅 寅	巴 (4画) フ コ 巴	届 (8画) フ コ 尸 届 届	突 (8画) ノ 宀 宀 空 突	凸 (5画) 一 丿 凸 凸	読 (14画) ノ 言 言 言 言 読 読	独 (9画) ノ 犭 犭 独 独 独	毒 (8画) 一 十 丰 毒 毒	◇と
式 (6画) 一 二 式 式	尼 (5画) フ コ 尸 尼	二 (2画) 一 二	◇に	難 (18画) 一 艹 艹 難 難 難	楠 (13画) 十 木 木 楠 楠 楠	軟 (11画) 巨 車 軟 軟 軟	南 (9画) 一 十 十 南 南 南	捺 (11画) ナ 捺 捺 捺 捺	凧 (6画) ノ 凧 凧 凧 凧	内 (4画) 丨 冂 内 内	奈 (8画) 一 ナ 奈 奈 奈	那 (7画) フ 冂 那 那 那	◇な	

参 考 手 本

嚴雪がんせつの夜窓よそうに明あきらかなり



※これは規定課題ではありません。

成 瀬 映 山 先 生